農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

宮代町長 新井 康之

市町村名 (市町村コード)	宮代町 (114421)	
地域名 (地域内農業集落名)	逆井・金原地区 (逆井・金原)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 6月29日 (第1回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

【逆井】この地域は平成3年に基盤整備が行われたことにより、区画については整っている。しかし、もともとの農地の状態が悪いため、掘ると小石などの異物が多く混入しており、トラクターの部品破損などの事故の原因にも繋がっている。基盤整備を行った事により農地の状態にも年々改善は見られているが、今後も課題となる事項である。また、地盤が緩く、大型機械を入れることができない。さらにこの地域は、耕作者がもともと少なく、後継者不足も深刻な課題となっている。
【金原】この地域は耕作放棄地や残土、高低差等の課題を抱えている。自身の経営農地を貸したり、譲渡したい方はいるが、拡大意欲のある後継者が不足しており、現状維持で手一杯という状況である。耕作放棄地に対して問題意識を持つ農地所有者が多くいる。

(2) 地域における農業の将来の在り方

【逆井】個人でエリア分けを行うのではなく、エリア内の圃場全体を地域みんなで守っていく希望がある。
【金原】エリア内の圃場を守りつつ、耕作放棄地や残土等の改善を望んでいる。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	41 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	41 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

【逆井】過去に耕地整理を実施した区域及び、集团的に農地が連続する区域とする。
【金原】今後も農業上の利用が見込まれる区域とする。なお、一部再生が困難な農地については保全管理を行うものとする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
【逆井】営農組合を設立し、その組合に農地を集約し、組合員全員でエリア全体を耕作していく。 【金原】今ある農地を維持しつつ、できるところから部分的に集約化する。
(2)農地中間管理機構の活用方針
【逆井・金原】特になし。
(3)基盤整備事業への取組方針
【逆井】平成3年に基盤整備を実施済だが、地盤の強化などは引き続き求められる。 【金原】もともと高低差がある地域のため、基盤整備の実施について関心がある。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
【逆井】退職後に農業を専業でやりたい人が現れた場合に、支援できる制度の確立。 【金原】就農希望・拡大希望のある担い手に対し、貸し手側から土地の情報を提示していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
【逆井】特になし。 【金原】現状では特になし。世代交代したタイミングでの担い手の考えによる。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他
【選択した上記の取組方針】				